

『6000人の命のビザ～杉原千畝物語～』

3年生は中学校での最後の道徳の取り組みとして、杉原千畝氏の生涯について学ぶ時間を持ちました。全5回にわたる取り組みでしたが、最後の感想ではさすがは3年生という、深く考えた内容の感想がいくつも見られました。

●杉原千畝(すぎはらちうね) 『日本のシンドラー』と称される、第二次世界大戦中の元リトアニア在カウナス日本領事館領事代理。大戦中、ナチスの迫害から逃れてきたユダヤ難民に対して、人道的な立場から本国の命令に反しつつ、2139通もの通過ビザを発給し、のべ6000人以上もの人の命を救った。

※『ちうね』という発音が外国人には難しかったため、『センポ・スキハラ』と名乗っていた。

【生徒感想文より抜粋】

- ・ぼくはDVDを見るまでMr.センポを知りませんでした。DVDを見て好きになりました。
- ・杉原千畝は手を痛めてもユダヤ人のビザを書いたのはすごいなと思いました。外交官としては間違っていたのかもしれないが、自分の思いを貫いて、人々を守ったのは素晴らしいと思いました。
- ・杉原千畝は本当に凄いと思う。差別を受けている人に救いの手をさしのべることは、なかなかできることでは無いと思うし、差別を受けていたユダヤ人を救うために、自分の国のビザを発行して。約6千人のユダヤ人を救ったのは凄いと思う。
- ・このDVDを見て、私は「もし自分が千畝さんの立場だったらどうしていたのだろう。」と考えた。(中略)まず、千畝さんを外務省からクビにした人が私は嫌いです。そして、このDVDを見て、千畝さんは私の尊敬する人、そして世界に誇れる日本人にみごと認定されました！
- ・私は、このDVDを見る以前から杉原さんことを知っていましたが、このような素晴らしい行動をされた方とは知りませんでした。自分の社会での立場や見返りなど、人間なら誰でも求めてしまうような欲よりも、ユダヤの人々が生きれるようにビザを発行し、外務省の中で疎外されてまでも自分の意思を貫く杉原さんの行動は、すごく感動しました。きっと、私はあのような行動は取れないと思います。それに、リトアニアを追放されたときも、最後の最後まで一人の命のためにビザを書き続けていた杉原さんはすごいと思います。きっと手も痛くて、寝不足で、お腹も減っていて、杉原さん自身も辛かったのに、貧困や迫害に苦しむ人々に優しくしたのは、普通の人には出来ることではないと思います。私も、これから先色々な人に出会うことと思いますが、杉原さんを見習って、自分の意思を貫けて、苦しんでいる人々を助けることが出来るような、強くて優しい日本人としてほこり高い人間になりたいと思います。
- ・私はこの学習をする前から杉原千畝さんことを知っていた。6000人の命のビザ、ということも知っていたけど、DVDを見るまでその後の苦労は知らなかった。DVDの最初のほうから正義感があって、自分の信念がある人で、すごいと思っていたけど、終わってから改めて本当に素晴らしい人だと思った。特に、もう行かなければいけないのに、駅で

さえビザを書いていた姿は印象に残った。自分の信念を曲げずに行動するのはとても勇気のいることだから、つらかったと思う。上からの命令に流されずに何千人を助けるのは本当にすごいことだ。私もこんな風に人のために行動できるような人になりたい。

・信念を曲げずに行動を起こせることがすごかった。

・私はこの学習で、杉原千畝さんが外交官としてどんなことをしたのかを初めて知りました。杉原千畝さんが何千人もの人を救ったというのは本当にすごいと思いました。自分がもし同じ立場にたってたらきっとできなかっただと思いました。

杉原さんは自分の信念を曲げずに上の人からの命令に反対し、ユダヤの人々を助けたのは誰にでもできることではないと思いました。杉原さんがユダヤの人たちにビザを書き続けた結果、亡くなってしまった人もいたけれど、亡くなってしまっていたかもしれない何千人の人たちの命が救われたことには本当に感動しました。でも、差別をされ亡くなってしまった人たちを考えると、本当に悲しいと思いました。本当に同じ人間を差別することはいけないことだと思いました。

・みんなから反対されてもビザを書き、最後まで人の命を守ろうとしていてすごかったです。

・杉原千畝さんはユダヤの人を救ってすごいと思いました。電車が来ても最後まで書きつづけたからユダヤの人は助かったと思いました。杉原千畝さんは自分の信念を曲げずにビザを書きつづけてすごいと思いました。

・すごかった。

・杉原千畝さんの一つ一つの言葉は、とても心にひびいた。この人がしたことは、まちがっていないと思う。

・私は最後の方は見ていないけど、6000人の命を救うことはすごいと思った。確かにまだビザをもらっていない人もいたと思うけど、千畝さんは一人でも早くビザを渡すという気持ちで感動しました。ドイツ人はなんで、ユダヤの人を差別するのかは分からぬけど。私は杉原千畝さんをすごい人だと思いました。人はだれでも見殺すのはイヤだし、自分が出来ることはしてやりたいと思う気持ちがある！！

・人々を救うことは簡単ではないから、杉原千畝さんはすごいと思った。

・昔の日本人のえらい人は何でみんなに冷たい人ばっかなんかがわからん。そんな人たちの中で千畝さんがユダヤ人のために手がギリギリになるまでビザを書いたのはほんまにすごいと思った。

・杉原千畝さんが何千人の命のためにビザを書くのはすごいことだと思いました。

・よかったです

・杉原さんはすごくすばらしい人だとおもった。なぜなら、とても戸惑ったと思うけど、自分の信念を曲げずに行動したからです。

・差別があった中で、千畝さんはユダヤ人に何の差別なくビザをあたえてあげていい人やなと思った。自分でもそんな事はできないなと思った。こんなことをできる人になりたい。

・何千人の命を救った事はすごいことだと思った。

・最後は認めてもらえてよかったです。

・最後の最後までビザを書いていてめちゃ良い人やなと思った。

・良い人！！

・とてもすばらしい人でした。ユダヤ人がとてもかわいそうだった。千畝さんはとても優しくてがんばっていた。